

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第128号	
事故等種類	衝突（海中の障害物）	
発生日時	平成22年6月16日 23時00分ごろ	
発生場所	千葉県市川市千葉港葛南市川灯台から152°3.4海里付近 （概位 北緯35°37′ 東経139°58′）	
事故等調査の経過	平成22年7月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>貨物船 第五^{かごしま}鹿児島丸、496トン 134532、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構及び大山海運有限公司</p>	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾船底部に直径約1cmの破孔	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、千葉港外港において投錨作業中、平成22年6月16日23時00分ごろ、船尾船底部に衝撃を受けた。船長は、すぐに機関を停止して点検を行い、機関室ビルジの増量を確認した。</p> <p>本船は、翌17日千葉港葛南区岸壁に着岸し、揚荷終了後、潜水調査を行い、破孔を発見して水中溶接による修理を行った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮高 約163cm、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>本事故発生当時、本船の喫水は、船首約2.1m、船尾約4.0mであった。</p> <p>本船が船底に衝撃を受けた場所付近の海図（W1088）記載の水深は、約9.6～9.8mであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、千葉港外港において投錨作業中、海中の障害物に接触したものと考えられるが、その障害物については、明らかにすることができなかった。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が、千葉港外港において投錨作業中、海中に障害物が存在したため、同障害物と接触したことにより発生したものと考えられる。	